

令和7年度常磐公園の緑を考える集い 開催結果

日時 : 令和7年 8月29日(金) 10:00～11:30
会場 : 常磐公園
出席者 : 市内在住の市民 7名
旭川市土木部公園みどり課 3名
旭川市公園緑地協会 1名

I 開催内容

- 1 開会
- 2 日本庭園ゾーンのアジサイ周りの除草作業
- 3 自然更新ゾーンから移植した樹木の現況確認
- 4 常磐公園内樹木の枝剪定について
- 5 意見交換
- 6 閉会

II 開催結果

別紙報告書のとおり

令和7年度常磐公園の緑を考える集い 開催結果

1 日本庭園ゾーンのアジサイ周りの除草作業

ー昨年植栽したアジサイ周りの除草作業を行いました。作業中に、草は土壌の温度を保ち、地中の水分を保持する効果があるとアドバイスをいただいたため、アジサイの日照阻害となるような丈の長い草を除草し、丈の低い草は少し残しました。除草作業後はアジサイがキレイに見えるようになりました。アジサイについては適正に維持管理した上で、今後も集いの中で見守っていくこととなりました。



(除草状況)

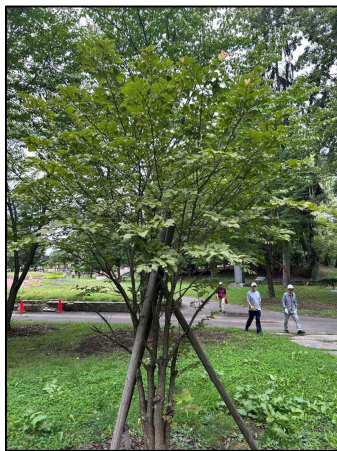


(アジサイ現況)

2 自然更新ゾーンから移植した樹木の現況確認

令和6年度に自然更新ゾーンから移植した、ハルニレの木2本とカツラの木1本の現況を確認しました。ハルニレの木1本とカツラの木1本は力強く青々としていました。残念ながら、ハルニレの木1本は芽をつけていない状態でしたが、まだ完全に枯死していないため、移植木3本ともに今後も集いの中で見守っていくこととなりました。

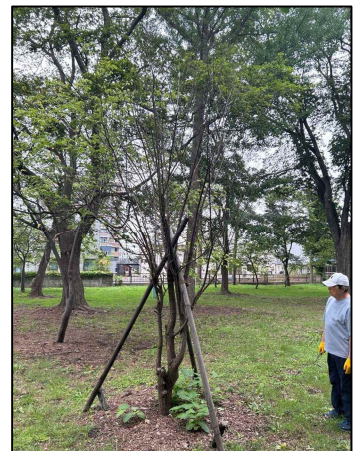
また、現況確認中に、移植木それぞれに名前をつけたいという意見や移植時期などを支柱に書いて記録を残したいという意見があったため、今後、集い活動の中で可能なことについて実施することを検討いたします。



(ハルニレ①)



(カツラ)



(ハルニレ②)

3 常磐公園内樹木の枝剪定について

旭川市公園緑地協会の常磐公園管理事務所長より、民地側に越境している枝や、落下の恐れのある枝等の樹木剪定を今年度実施することについて説明がありました。

4 意見交換

本年度の集いに参加出来なかった方や参加者から、御意見いただいた事案について、参加者と意見交換を行いました

<提起事案>

1. アズマヒキガエルの情報看板設置について
2. 千鳥ヶ池の水質改善について
3. 今後の自然更新ゾーンの実生木移植について

<意見交換結果>

1. アズマヒキガエルは、過年度の集いの中で痕跡が確認されなかったことから、調査等を中断することとしており、看板の設置についても状況が変わらない限り設置しないことといたしました。
2. 千鳥ヶ池の水質改善は、表面に浮いたゴミ清掃では不十分であるため、根本的対策が必要であるとの意見が提起されました。現状の予算の中で出来ることは限られることから、池の浄化に向けてどのような手法があるのか今後検討していきます。
3. 過年度に行った、自然更新ゾーンの実生木移植の結果、枯れてしまう事例が発生したこと等を勘案し、今後、自然更新ゾーンに自生する実生木については、移植を行わずに、その場で生育を見守ることが提案され、参加者全員の賛同がありました。

今後、自然更新ゾーンの実生については、原則移植せず、密集して自生した場合は、集いの中で参加者と移植・伐採する樹木について協議することとし、新たに自然更新ゾーンを設定することについても今後検討していくことといたしました。